

## 道場からの便り 「道場紹介」(4)・・・生月剣道スポーツ少年団(平戸市) 文責:生月剣道スポーツ少年団 藤田親央

生月剣道スポーツ少年団は、昭和 33 年に青少年健全育成を図るため、当時の生月町がスポーツ少年団の育成に力を注がれました。その翌年に生月小学校の児童を対象として、外山武男先生や山浦福儀先生のお力添えで生月剣道スポーツ少年団が結成されました。

その後、昭和 44 年に長崎県スポーツ少年団及び日本スポーツ少年団に登録しており、昭和 47 年からは濱崎壽利先生を代表指導者として令和 2 年 6 月まで長きにわたり指導されました。

当時は、離島というハンデから中々大会に出場する機会も少なく、年に 1 度だけ長崎市内の大会に出場するのを楽しみに稽古していた様です。その後、待望の生月大橋が平成 3 年に架橋し、大会に出場する機会も多くなり、最盛期には小学生のみで団員数 60 名という大きな団体となり、平成 26 年に長崎県剣道道場連盟に加入し、全国大会出場に向け、日々稽古に励んでいます。

少年団結成から 61 年が経過し、数多くの門下生を有し、県内外の高校、大学へと羽ばたき、剣道界のみならず現代社会へ通ずる門下生を数多く輩出し、活躍されています。

藤田親央先生(錬士六段)を指導の柱として、現在 20 名の小学生と共に、先人からの教えである剣道の修練を通じて日本人の特性である礼節を重んじ、相手を敬う感謝する心の習得を指導の基本として、将来社会に役立つ人材の育成に錬成に努めています。稽古は基本を忠実に勿論厳しくしますが、終了後は笑顔で楽しく帰宅することを心がけ、春レクとして近隣の農場をお借りしたいちご狩り体験や夏には稽古終了後のプール遊び、地元で開催されるツーデーウォークやロードレース大会開催前のごみ拾い奉仕作業、クリスマス会や鏡開きでのお楽しみ抽選会、お別れ会時には入部してから卒業するまでの間、子どもたちがここにいた足跡として、これからも忘れることのないよう大会時やイベントの画像や動画を編集したDVDを毎年送るなど指導者、OB、OG、団員、保護者が一体となって、生月剣道スポーツ少年団を盛り上げています。これからも先人の先生方に感謝と敬意を表しながらこれからも一丸となって精進して参ります。

- ◇道場訓: 剣は心なり  
心正しからざれば  
剣また正しからず  
剣は和なり  
憎む心あるべからず

(島田虎之助氏の言葉を子どもたちが理解できるようにアレンジしたものであり、先人の先生方が作成されたのではないかと推測します。)

◇稽古日時:火曜日・木曜日(17:00~19:00)、金曜日(16:30~18:00)、土曜日(10:00~12:30)高学年のみ

◇稽古場所:生月小学校体育館

◇指導者:藤田 親央(錬士六段) ◇お問合せ:藤田 親央 ☎090-9657-7456

濱崎 誠(六段) 小揚 美智江 増山 剣 岳下 政則



昭和 54 年当時の部員、社会体育施設完成時の集合写真



現在の生月剣道スポーツ少年団の級位審査で昇級した集合写真



令和 2 年度平戸市剣道協会長杯少年剣道大会団体優勝



面用手ぬぐい 創部当時～現在まで